

生活者目線

ずっと住みたい
ヨコハマ

5年間の確かな「実績」

無償化

- 18歳以下の医療費
- 出産費用(基礎的部分)
- 65歳以上の
がん検診・精密検査

- 交通不便地域に
新たな地域の足を
運行支援
- 地域を守る
防犯対策の充実
- 市の手続き件数の
約9割をオンライン化
- 市の観光にぎわい
過去最高

- 中学校全員給食実現
- 春・夏・冬休み中の
学童保育での昼食開始
- 12年ぶりの待機児童ゼロ
本市初の2年連続ゼロ

- 特養ホームの
平均入所待ち期間
大幅短縮
- 防災対策の
抜本的新戦略を始動
- データを活用した
財源確保の
取り組みを開始
- 人口の転入超過
過去20年で最大

山中竹春

生活者目線の「継続」

1 カジノ
断固阻止!3 若者が
夢を持って
働ける横浜へ!2 もっと子育て
しやすい横浜へ!4 災害時も
命と暮らしを
守る横浜へ!

山中竹春

無所属

やまなか
たけはる

ご負担いただきながら
市政を混乱させ
道半ばで辞したこと
心からお詫び申し上げます。
どのような批判も
受け止めて参ります。
そして約束した政策は
生活者目線を貫き
やり抜く覚悟です。

元 横浜国立大学医学部教授 データの力で課題解決に挑む専門家としてアメリカ国立衛生研究所(NIH/NIEHS)や国立がん研究センターに従事。早稲田大学で政経・理工の両学部を卒業。家族は妻と子と2匹のネコの親子。

市民が主役の横浜市政へ!

ひとりごとを
みんなごとへ1 税金はまず家計・子育て・福祉に!
水道料金・保育料・住宅費の負担軽減2 パワハラで損なわれた市政の信頼回復は、
徹底した情報公開から3 山下埠頭の未来は、市民が決める。
海と緑と憩いの場に4 中小企業・商店を元気に。
省エネ・地域循環型の経済を5 横浜港を世界とつながる平和の港に。
横浜ノース・ドッグの早期返還を

カジノの復活はNO!

民設民営の 大型開発計画 を
市民参加で見直します

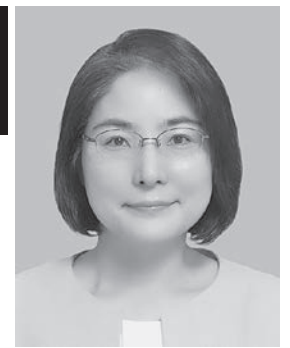
藤川祥子のプロフィール

ふじかわ・さちこ 1975年生まれ。
●横浜市鶴見区出身・在住。東台小学校、寺尾中学校、横浜翠嵐高校、東北大学文学部卒業。英国サセックス大学大学院で開発人類学の修士号を取得。
●大学1年時に阪神淡路大震災でボランティア活動。フェアトレード社会、民間シンクタンク、公益団体の職員として、福祉団体や被災地の支援、子ども

たちの主権者教育に携わる。
●学童保育の父母会長や小中学校のPTA役員などを務め、地域で子どもを育てることの大切さを実感。カジノ誘致反対、食品配布「フードパントリー」でボランティア活動。

メッセージ

前市長のパワハラを防げなかった行政・議会を改革するため、まずは徹底した情報公開が必要です。横浜市内には、仕事や子育て、介護しながら、まちを良くしようと活動する多くの市民がいます。その声を行政につなぎ、市民が主役の横浜市政を、皆さんと一緒ににつくっていきます。 詳しい政策は▶



藤川さちこ

無所属
51歳

ふじかわ

あなたの笑顔のために。

1967年8月生まれ
3歳より50年を横浜で過ごす。
横浜国立大学附属横浜小学校
桜蔭中学校・桜蔭高等学校
慶應義塾大学院理工学院研究科
早稲田大学法科大学院 卒業
【主たる職歴】
日本航空(株)(整備部門)
弁護士(司法修習地:横浜)
川崎汽船(株)社外取締役
(株)東横イン社外取締役
リコーリース(株)社外取締役
(株)ローソン銀行社外監査役
日本トリアスロン連合理事
日本航空技術協会理事
東京都入札監視委員
東京2025世界陸上財団契約
調達委員
予備自衛官(予備三等陸佐)等

横浜を、もっと前へ。

横浜の未来をつくる12の政策

- | | |
|--|--|
| 災害に強く、危機管理に優れた横浜をつくります。 | 道路・橋・上下水道など、暮らしを支えるインフラを守ります。 |
| 必要な人に、必要な支援が届く福祉を実現します。 | 子育て支援をさらに充実させ、子どもを安心して育てられる横浜をつくります。 |
| 18区それぞれの個性を生かし、地域の活力を高めます。 | 財政基盤を強化し、将来世代に責任を持つ市政を実現します。 |
| GREEN×EXPO 2027を契機に横浜の未来を切り拓きます。 | 企業を呼び込み、横浜に働く場所と新たな雇用を生み出します。 |
| 横浜を観光客が訪れるだけでなく、楽しみ、過ごす「滞在型観光」の拠点にします。 | 横浜の持つ豊富な基盤を活かし、横浜を世界に誇るエンターテインメント一大拠点にします。 |
| 公正・適正な官民連携で、民間の力を最大限に生かします。 | 市職員に笑顔を取り戻し、一丸となって市民のために働く市役所をつくります。 |

私たちも応援しています。
自民党・日本維新の会
公明党・国民民主党

守る。育てる。支える。
横浜の未来を、
もっと強く、もっと豊かに。



原沢あつみ

横浜の豊かさを
市民の豊かさへ

学生・若者などへの家賃補助の創設
全年齢の保育料、中学校給食の無償化
市立大学の入学金廃止、授業料半額へ

世界水準の人権都市へ

国際水準の都市へ▶ハラスメント防止
条例▶実効性ある差別禁止条例の策定
▶朝鮮学校補助金再開▶男女賃金格差
解消▶市の女性管理職割合50%をめざす▶再エネ促進・緑増やす。 No Hate!

憲法9条を守り生かす

平和でこそ発展します▶核兵器廃絶を世界へ発信▶横浜ノース・ドッグなど米軍基地の全面返還へ全力。
横浜を戦争の拠点にさせません

3児の母
横浜生まれ
横浜育ち

あさか由香 プロフィール
1980年横浜市鶴見区生まれ・横浜在住。筑波大学国際総合学類卒業。元SE→国際輸送の仕事を経験。世界から貧困と戦争をなくしたいという思いで、さまざまなボランティアに携わり日本共産党へ。夫と中3・小6・小5の子とたちと暮らす3児の母。

5分
すぐやる
1 避難所にエアコン
設置100%!
2 あたたかい
中学校給食!
3 18歳まで
子ども運賃に!
4 年金で入れる
高齢者施設を!
5 生理用品を
学校トイレに!



あさか

日本共産党公認 由香

地域社会圏 -助け合って住む-

一つの町内会(約400世帯・1300人)＝「地域社会圏」

1 すべての横浜市民は
安全で快適な住宅に
住む権利をもつ。
それを保障する。

住宅は職住一体型住宅とする。

3 公共交通網の充実

市全域まで行き届く市民無料の
ミニバス網・ミニタクシー網をつくる。

2 ひとつの町内会ごとに
町内会サロンをつくる。

町内会サロンは、幼児・学童・高齢者支援機能を持つ。
町内会サロンは、行政窓口機能、小口金融窓口機能(ATM)を持つ。
町内会サロンは、カフェ、多目的ホール、宿泊機能を持つ。

4 横浜市の観光収入を現在の
約5,000億円から1兆円にする。

山下埠頭に各国の文化が集まった世界町家をつくる。
滞在型の観光拠点にする。
中央卸売市場を観光地化する。
米作を復活し、田園地帯の景観をつくる。

1945年、北京生まれ、横浜育ち。建築家・山本理顕設計工場。
青木小学校卒業、関東学院高等学校(三春台)卒業、日本大学理工学部建築学科卒業、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了、東京大学先端科学技術研究所研究員、2002-2007年工学院大学大学院教授、2007-2011年横浜国立大学大学院教授、2018-2022年名古屋造形大学学長、2022-2024年東京藝術大学客員教授、2024年より神奈川大学客員教授、横浜国立大学名誉教授・名誉博士。日本大学名誉教授・名誉工学博士。1988年、2002年「日本建築学会賞作品賞」、2001年「第57回日本芸術院賞」、2024年度プリツカ賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、神奈川文化賞受賞



山本理顕

やまもと
りけん

6のゼロ
6の改革
6の安心

6のゼロ
6の改革
6の安心

6のゼロ
6の改革
6の安心

6のゼロ
6の改革
6の安心